

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2004-19902 (P2004-19902A)  
 【公開日】平成 16 年 1 月 22 日 (2004.1.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-003  
 【出願番号】特願 2002-179728 (P2002-179728)  
 【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 13/00

B 6 5 H 5/06

G 0 3 G 15/00

G 0 3 G 15/20

【F I】

F 1 6 C 13/00 Z

B 6 5 H 5/06 A

G 0 3 G 15/00 5 1 8

G 0 3 G 15/20 1 0 3

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 6 月 20 日 (2005.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中空の円筒状ローラと、

該円筒状ローラの中空部で螺旋状に巻かれながら該円筒状ローラの長手方向に延びると共に該円筒状ローラの内周面に接触する線材とを備え、

該線材は、

その自由長が前記円筒状ローラよりも長いものであって、且つ、前記円筒状ローラの中空部に圧縮された状態で挿入されたものであることを特徴とするローラユニット。

【請求項 2】

前記円筒状ローラは、

その長手方向両端部の直径が長手方向中央部の直径よりも大きい逆クラウン形状であることを特徴とする請求項 1 に記載のローラユニット。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のローラユニットを備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ローラユニット及び画像形成装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

## 【発明の属する技術分野】

本発明は、他のローラユニットとの間に記録媒体などを挟持しながら搬送するローラユニット及びこのローラユニットを備えた画像形成装置に関する。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

本発明は、上記事情に鑑み、良好な定着性と搬送性が得られるローラユニット及びこのローラユニットを備えた画像形成装置を提供することを目的とする。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

## 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明のローラユニットは、

- ( 1 ) 中空の円筒状ローラと、
- ( 2 ) 該円筒状ローラの中空部で螺旋状に巻かれながら該円筒状ローラの長手方向に延びると共に該円筒状ローラの内周面に接触する線材とを備え、
- ( 3 ) 該線材は、その自由長が前記円筒状ローラよりも長いものであって、且つ、前記円筒状ローラの中空部に圧縮された状態で挿入されたものであることを特徴とするものである。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

ここで、

- ( 4 ) 前記円筒状ローラは、  
その長手方向両端部の直径が長手方向中央部の直径よりも大きい逆クラウン形状であってもよい。
- また、上記目的を達成するための本発明の画像形成装置は、
- ( 5 ) 上記したローラユニットを備えたことを特徴とするものである。